



神奈川県議会議員(茅ヶ崎市選出)

くさか景子の

No. 76
県議会報告
2013
9月号

ちょっ

と よろしいですか！

と



酷暑の夏 海の家クラブ化が問題！

一県 海の家利用ガイドラインを作成

湘南海岸は、今年も海水浴場がオープンし、海の家も洒落た店が増えています。近年マリレジャーも多様化し、利用者間のトラブルや騒音や苦情、環境面、安全面などで問題が出ています。

特に藤沢や鎌倉では、大音響の音楽を流しダンスをするクラブ化が問題で、規制などを行っています。

県では、海岸利用のガイドラインを作成し、それぞれの海水浴場で、自主ルールを作り運用しています。営業時間の設定、クラブ化への規制、暴力団排除、ごみ処理などの内容です。

しかし、ガイドラインはあくまでも海の家に限られているため、茅ヶ崎海岸で問題のモーターパラグライダーや水上バイクの危険性、バーベキューや密漁まで広い範囲の海岸のルールは、きちっと決まっておらず、お願いの段階です。

県では、今年の効果のみをみて、さらにルール化が必要か、県で統一条例が必要か、あくまでも各市での自主ルールで良いのかまとめられます。

海水浴場で、楽しく夏を過ごすため、迷惑行為はご法度ですが、しっかりした検証が必要です。



茅ヶ崎海岸海開き

視察報告

8月26日 大磯旧吉田邸再建進む！

平成21年火災焼失した吉田邸は、多くの市民から再建が望まれ、全国から大磯町に寄付が寄せられ、基金と国の交付金と合わせて5~6億円となり、今年度実施設計、26年度以降建築予定です。9月22日12時から県立城山公園旧吉田邸の部分開園がされます。海と富士山を望む素敵な歴史ある公園においてください。



吉田茂像の前で

こどもたちの未来のために



「福島を忘れない・全国シンポジウム」に参加して

8月17日～18日

一日目は、福島市にて開催された全国シンポジウムに参加しました。全国から地方議員、一般人合わせて百名ほどが集い、川俣町や飯館村など福島第一原発周辺地域の六人のお話を聞きました。葛尾村の議員の報告と川俣村の議員の報告を聞き比べると、行政が住民の避難に積極的かどうかで住民の放射線量に差が出ていることが分かりました。



福島全国シンポジウム

二日目は、バスツアーで、福島市内の仮設住宅を車窓から見学し、川俣町、飯館村、葛尾村の順に回りました。福島市内の大型ショッピングモールの道路を挟んで向かい側に、仮設住宅が並んでいました。飯館村は村民全員が避難していますが、日中は帰宅可能なので、この日もお墓参りや家の片づけなどで帰宅している人々がいました。除染で取り除いた土の置き場がなく、田んぼや畑の上に置いている地域が大半でした。川俣町山木屋地区では、小学校の校庭に置いてありました。原発に近い浪江町への道路が通行止めになっており、境界線付近では二年半経った今も比較的高い数値の放射線量が確認できました。また、津波の被害に遭ったいわき市の沿岸部で、下の基礎部分しか残っていない家をたくさん見ました。堤防らしい堤防がなく、海岸線からすぐのところ住宅が並んでおり、津波が来ることを想定されていないようでした。今回被災した地域だけでなく、すべての沿岸部、特に住居がすぐ近くにあるところはすぐに何かしら対策を講じるべきだと思います。

インターン 曾田潮里



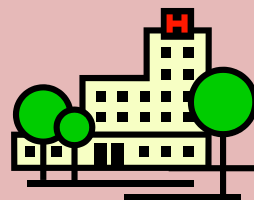
くさか景子のほっとコラム

平成26年冬 茅ヶ崎徳洲会病院がオープン！

徳洲会病院が平成24年10月に辻堂に移転し、私たちにとって、長年の運動もあり、跡地に病院が再開されるのを心待ちにしていました。

8月11日、酷暑の中、大勢の関係者や地元の人たちが集まり、地鎮祭が行われました。その1週間前には、地元説明会があり、建設にあたり、土壌汚染問題や騒音対策などの要望も多く出たところです。

予定では平成26年度中に132床の新病院がオープンします。診療科の予定は、内科・循環器科・外科・小児科・産婦人科・整形外科・救急医療・人工透析・訪問医療・訪問看護などです。



発行責任者 神奈川県議会議員くさか景子
連絡先 くさか景子事務所 〒253-0043 茅ヶ崎市元町3-17 村田ビル202
Tel&Fax 0467(58)0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp
http://www3.ocn.ne.jp/~children/

くさか景子

検索